

数 学

東 京 書 籍
大 日 本 図 書
学 校 図 書
教 育 出 版
啓 林 館
数 研 出 版
日 本 文 教 出 版

採択基準	基本観点	発行者名						
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。 「Q」、「例」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるように工夫している。 「学びをひろげよう」などで自分の考えを深めたり、他者に説明したりできるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。 「活動」、「例」、「Q」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるように工夫している。 「活用・探究」などで自分の考えを深めたり、他者に説明したりできるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。 「Q」、「例」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるように工夫している。 「深めよう」などで自分の考えを深めたり、他者に説明したりできるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。 「Q」、「例」、「たしかめ」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるように工夫している。 「学んだことを活用しよう」などで自分の考えを深めたり、他者に説明したりできるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。 「ひろげよう」、「例」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるように工夫している。 「学びをいかそう」などで自分の考えを深めたり、他者に説明したりできるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。 「Q」、「例」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるように工夫している。 「学んだことを活用しよう」などで自分の考えを深めたり、他者に説明したりできるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。 「Q」、「例」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるように工夫している。 「とりくんでみよう」などで自分の考えを深めたり、他者に説明したりできるように工夫している。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> 目次に、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。 1年0章が設けられており、算数と数学をつなげられるよう工夫している。 巻末に「学びのベース」が設けられており、小学校算数科での既習事項がまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次に、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。 1年巻末に「小学校算数の振り返り」のページを設けている。 前年での学習内容の学び直しができるよう、2、3年巻末に「〇年の復習」が設けら 	<ul style="list-style-type: none"> 目次に、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。 1年では、「ふりかえり～算数から数学へ～」のページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次に、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。 算数や前の学年の学習内容を確認できるよう、巻末に「学びのマップ」を設けている。 章冒頭の「〇章〇〇を学習する前に」や側注の「算数から数学へ」で既習事項の関 	<ul style="list-style-type: none"> 1年「算数のまとめ」では、二次元コードコンテンツで算数の学習内容を一覧で確認することができるよう工夫している。 1年では、「ふりかえり CBT」として、各章に関連する既習事項 	<ul style="list-style-type: none"> 1年巻末に、算数と数学のつながりを確認しながら学習を振り返る「中学1年のまとめ」を設けている。 章冒頭の「〇章〇〇の学習の前に」で関連する既習事項を確認できるようにしてい 	<ul style="list-style-type: none"> 目次に、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。 1年巻頭に「算数のたしかめ」、巻末に「算数のたしかめ（問題編）」を設けている。 各章の直前に「次の章を学ぶ前に」を設け、関連する既習事項を確認できるようにし

採択基準	基本観点	発行者名							
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<p>れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び直しができよう、側注に「思い出そう」を設けている。 ・「例」にもタイトルを付け、復習が行いやすいように工夫している。 ・「例」の内容の定着を図る「たしかめ」や内容の理解を行う「Q」、「プラス・ワン」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び直しができよう、側注に「ふりかえり」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び直しができよう、側注に「もどって確認」を設けている。 ・「例」にもタイトルを付け、学習内容の把握がしやすいように工夫している。 ・本文に「例」の内容の定着を図る「たしかめ」を設けている。 ・項の学習を通して身に付く内容を「どんなことがわかったかな」で明確にしている。 	<p>連内容を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び直しができよう、側注に「もどって確認」を設けている。 ・「例」にもタイトルを付け、学習内容の把握がしやすいように工夫している。 ・本文に「例」の内容の定着を図る「たしかめ」を設けている。 ・「例、例題」にもタイトルを付け、復習が行いやすいように工夫している。 ・「例、例題」、「問」以外に項末に「練習問題」を設けている。 	<p>を確認する問題が設けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び直しができよう、側注に「ふりかえり」を設けている。 ・「例」にもタイトルを付け、学習内容の把握がしやすいように工夫している。 ・項目末に練習問題を設け、復習できるよう工夫している。 ・節末の「確認問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページを示している。 ・章末に理解の確認を行う「章末問題」は、基礎基本の理解の確認を行う「学びをたしかめよう」と応用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び直しができよう、側注に「ふりかえり」を設けている。 ・「例」にもタイトルを付け、学習内容の把握がしやすいように工夫している。 ・項目末に練習問題を設け、復習できるよう工夫している。 ・節末の「確認問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページを示している。 ・章末に理解の確認を行う「問題 A、B」を設けている。 	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び直しができよう、側注に「確かめ」を設けている。 ・項末毎に「次の課題」を設定し、予習しやすくしている。 ・節末の「基本の問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページを示している。 ・章末に理解の確認を行う「○章の問題」を設けている。

採択基準	基本観点	発行者名						
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
		<ul style="list-style-type: none"> ・節末、章末の問題だけでなく、巻末に補充の問題を取り上げている。 ・巻末に、「〇年のふり返り」が設けられており、復習できるよう工夫がされている。 ・3年巻末に「学びのマップ」を設けており、中学校3年間の学習内容の共通する考え方を示している。 ・学習した内容を細かな単位で確認できる「クイックチェック」を設けており、つまづきを早い段階で発見できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に本文の「Q」に対応した「補充問題」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図っている。 ・1時間毎に「めあて」が示されている。 ・新たな学習内容に円滑に接続できるよう導入課題「考えよう」を設けている。 ・学習の区切りで、学ん 	<ul style="list-style-type: none"> ・章末に「〇章を学んで」を設け、「できるようになったこと」及び「さらに学んでみたいこと」を振り返ることができるようにしている。 ・巻末に理解の確認及び復習を行う「〇年の復習」を設けている。また、1年では「小学校の計算」も設けている。 ・内容ごとに目標が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・章末に理解の確認を行う「章の問題」を設けている。 ・巻末に本文の「問」に対応した「補充の問題」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 力を養える「学びを身につけよう」の2部構成となっている。 ・巻末の「数学広場」の「学びをふりかえろう」では、1年では算数の内容、2、3年では前年の学習内容のふり返りができるような問題を設けている。 ・巻末に本文の「問」に対応した「もっと練習しよう」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図っている。 ・1年巻頭の「たいせつな考え方」では、算数の学習を振り返り、どのような見方・考え方を働かせてきたのか説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に章の確認問題「チャレンジ編」を設けている。 ・1年巻末に「中学1年のまとめ」というタイトルで中学1年の内容を小学校算数の内容と合わせて振り返ることができるようにしている。 ・2、3年巻末に「中学〇年のまとめ」としてこれまでに学んだ内容が一覧表となっており復習しやすいようにしている。 ・区切りごとに学習内容を確認する「まとめ」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「例」「問」以外に側注にチャレンジ問題や「問」に関連した巻末の「補充問題」を設けている。

採択基準	基本観点	発行者名							
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文	
	別表2		だことを振り返り、数学の有用性に気付く質問「学びの振り返り」を設けている。						
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> 「章の問題 B」では、章の内容を応用したり活用したりする問題になっており、また、活用の問題は、日常生活につなげた内容になっている。 「深い学び」では、学習した内容をもとに、数や図形の性質から日常生活や身近なものに関する問題を取り上げている。 巻末の「大切にしたい見方・考え方」の中で、解決するまでの思考の道筋や見通しを立てるために必要な例なども分かりやすく示している。 デジタル教科書では、「D マーク」によって、インターネット上のコンテンツにリンクが繋がっており、動画などを使った学習を可能とし、さらに深い学びができるようになってい 	<ul style="list-style-type: none"> 「力を伸ばそう」では、章の内容を応用したり、活用したりする問題となっている。 「活用・探究」では、学習した内容を使った様々な場面において、さらに探究する内容となっている。 「活動」問題では、学んだ内容をもとに、調べたり考えたりできる問題となっている。 巻末の「課題学習」では、身の回りにおける数学を使った内容で興味を引く課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「章のまとめの問題」では、基本・応用・活用と段階的に分けられており、各章の最後には学んだ内容がまとめられるように示している。 章のまとめ問題に「活用」を設定し、様々な活用問題を設けている。 「深めよう」では、学習した内容をもとに、身の回りで使われている数学について考え、活用できるような問題となっている。 「数学的活動」では、学習した内容をもとに、課題を協働的に解決できるよう工夫している。 巻末の「数学へのいざない」では、章の内容を広げるような数学の活用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末には「章のまとめ」があり、章の振り返りとともに、さらに発展した問題にも取り組める。 「数学の広場+」では、日常生活や他教科の学習に活用できる課題を示している。 巻末や巻末にある「学んだことを活用しよう+」では、学習した内容を、身のまわりの問題に活用し、さらに考えを深めることができる課題を準備している。 「みんなに説明しよう」では、気付いたことや分かったことなどを、相手に説明できる問題を示している。 「Q」では、学習した内容をもとに、身の回りの数学を使った課題に対して、論理的に考察し、協働学習 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末にある「学びを身につけよう」では、基礎基本をもとに発展問題に取り組むことができ、二次元コードで大切なポイントや解説を確認することができる。 巻末の「学びをいかそう」では、数学を用いて身の回りの問題を解決する課題や、数学を活用して発展・深化する課題を示している。 「○章のあしあと」では、学習全体を振り返り、分かったこと、できるようになったことなどをまとめる活動を設定している。 「説明しよう」では、自分の考えを表現できる問題を示している。 「話しあおう」では、いろいろな考えを話 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末には、問題 A・問題 B があり、学習の定着の程度に応じて取り組むことができる。 巻末に「学んだことを活用しよう」を設けており、身近な問題を数学的に解決できるよう工夫している。 「やってみよう」「調べよう」「考えよう」では、学習した内容に関連した話題や問題があり、内容をさらに深める活動ができるよう示している。 「学んだことを活用しよう」や「やってみよう」「調べよう」「考えよう」では、数学以外の教科の内容とも関連付けられるよう工夫している。 「TRY」では、活動を通して解決するための課題があり、さらに 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「とりくんでみよう」は、章の発展問題として示している。 「活用の問題」で、活用する力をさらに伸ばすための問題を準備している。 問題によって「考えよう」「話し合おう」「深めよう」のマークがあり、考えを深める問題を示している。 「やってみよう」では、学んだ内容を活用して、さらに発展させ論理的に考えさせる問題を示している。 「学び合おう」では、対話シートを使って協働学習をする内容になっており、予想や比較、振り返りなどをまとめることができるように工夫している。 	

採択基準	基本観点	発行者名						
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数学の自由研究」では、日常生活や他教科との関連性を示しながら、レポートにまとめる課題となっている。 ・「数学×仕事」では、仕事の中で数学を活用している人のインタビューを掲載し、数学の有用性を感じられるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「レポートを書こう」では、学んだことをきっかけに研究の方法や、レポートの書き方の例を示している。 ・MATHFUL は、日常生活に生かされている数学を紹介した読み物教材となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末では、発表のしかたやレポートのまとめ方の例を紹介し、数学を活用した問題を示している。 ・「数学の力」では、数学を仕事に活用している人のインタビューを扱っている。 ・3年「高校へのかけ橋」では、高校数学の内容を扱っており、発展的な課題を設けている。 	<p>ができるよう工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「レポートを書こう」では、調べたことを他の人に伝えるレポートの書き方の例を示している。 ・「数学しごと人」では、数学を仕事に生かしている人のインタビュー記事を扱っている。 	<p>し合い、学びを広げるよう示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめよう」では、学んだ内容を振り返ったりまとめたりする活動ができるよう示している。 ・巻末の「学びをいかそう」の中では、レポート例を示しており、自由研究を行う際の参考例を示している。 ・「数学ライブラリー」では、数学の既習事項と日常生活や他教科を関連させた教材を設けている。 	<p>思考力を深める内容となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒キャラクターが間違った考えを述べている場合や学習内容から派生する内容に関する記述があり、数学的に説明する機会がもてるよう工夫している。 ・巻末に「数学旅行」を設けており、これまでに学んだ内容を活用したコラムを掲載している。 ・各学年の冒頭で SDGs と数学の学習の関連について述べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学レポートをかこう」では、学んだことや調べたことをレポートにまとめる方法を示している。 ・巻末で、数学と社会とのつながりにおける話を紹介している。 ・「SDGs と数学」では、日常生活や社会の中の数学を扱い、数学を通して SDGs に対する理解が深められるよう工夫している。 ・「数学を仕事に生かす」は、数学を仕事に生かしている方の記事となっており、キャリア教育の一助となっている。
	別表3							

採択基準	基本観点	発行者名						
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫している。 プロセス又はステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。 ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫している。 プロセス又はステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。 ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫している。 プロセス又はステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。 ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫している。 プロセス又はステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。 ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫している。 プロセス又はステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。 ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫している。 プロセス又はステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。 ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫している。 プロセス又はステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。 ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。
	別表4							
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 「数学のまど」で学習に関連した読み物や問題を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 「活用・探究」や「MATHFUL」で、数学が生活に生かされていることや、楽しく豊かな数学の世界を知ることができる内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 「Tea Break」「数学へのいざない」「深めよう」「数学の歴史の話」で数学に関連した読み物や内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 「数学の広場」や「数学の広場+」で数学に関連した読み物や内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「学びをいかそう」の「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 「数学ライブラリー」で数学に関連した読み物や内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 「やってみよう」「調べよう」「考えよう」などで学習に関連した読み物や問題を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 「数学研究室」で数学への興味が高まる課題を示している。 「数学のたんけん」で学習した内容に関連のある話を示している。
別表5								
(5) 他の教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> 「章のとびら」「章の問題」で、学んだ数学を他教科の学習や社会に活用する問題を示している。 「数学のまど」や「数学の自由研究」で日 	<ul style="list-style-type: none"> 「～の利用」の最初や「活用・探究」で学んだ数学を他教科の学習や社会に活用する問題を示している。 「社会にリンク」では、職業と数学との関わ 	<ul style="list-style-type: none"> 「深めよう」「Tea Break」「数学へのいざない」で数学の内容を深めたり広げたりする内容を示している。 章のまとめの「活用 	<ul style="list-style-type: none"> 「章のとびら」では実社会や日常生活の数学にかかわる話題を取り上げている。 「数学の広場」で社会や日常生活に関わる内容や他教科に活用 	<ul style="list-style-type: none"> 「数学ライブラリー」で身のまわりで数学が活用されている場面を示している。 「学習のとびら」や「～の利用」の最初に日常での利用場面を示 	<ul style="list-style-type: none"> 「考えよう」「見つけよう」などで日常生活に関わる内容や他教科の学習に活用する内容を示している。 「学んだことを活用しよう」で日常生活に 	<ul style="list-style-type: none"> 「数学のたんけん」「数学研究室」で学習した内容に関連する数学の内容を示している。 「SDGs と数学」「数学を仕事に生かす」で 	

採択基準	基本観点	発行者名						
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	別表6	<p>常生活に関わる内容や他教科に活用する内容を示している。</p> <p>・「数学×仕事」のコーナーで職業の中で数学が活用されている例を示している。</p>	<p>りをインタビュー形式で示している。</p> <p>・「MATHFUL」では、数学と身のまわりの事象との関連に関心が高まる話題を示している。</p>	<p>で、日常生活に関する問題や、環境に関する問題を示している。</p> <p>・巻末の「さらなる数学へ」で社会や歴史に関連した課題を示している。</p>	<p>する内容を示している。</p> <p>・「数学しごと人」で職業の中で数学が活用されている例を示している。</p>	<p>している。</p> <p>・「二次元コード」に日常生活に関連する内容が示されている。</p> <p>・巻末の「学びをいかそう」で身のまわりの問題を解決する問題を示している。</p>	<p>関わる内容や他教科に活用する問題を示している。</p> <p>・「数学旅行」で数学を生かして仕事をしている人のインタビューや数学と社会の関わりを話題を示している。</p>	<p>日常生活や社会仕事の中にある数学の内容を示している。</p> <p>・巻末の「活用の問題」「学び合おう」で日常生活や社会の事象から問題を見出し解決する課題を示している。</p>
3 使用上の便宜が工夫されていること。	表記・表現の工夫	<p>・デジタルコンテンツが利用できるよう「二次元コード」で示している。</p> <p>1年 623箇所 2年 503箇所 3年 626箇所</p> <p>・二次元コードについて、授業や自主学習での活用について説明している。</p> <p>・ユニバーサルデザインを採用している。</p> <p>・環境に配慮した用紙やインクを使用している。</p> <p>・キャラクターを登場させ、分かりやすくなるように工夫している。</p>	<p>・デジタルコンテンツが利用できるよう「二次元コード」で示している。</p> <p>1年 18箇所 2年 10箇所 3年 18箇所</p> <p>・ユニバーサルデザインを採用している。</p> <p>・環境に配慮した用紙やインクを使用している。</p> <p>・キャラクターを登場させ、分かりやすくなるように工夫している。</p>	<p>・デジタルコンテンツが利用できるよう「二次元コード」で示している。</p> <p>1年 126箇所 2年 75箇所 3年 111箇所</p> <p>・ユニバーサルデザインを採用している。</p> <p>・環境に配慮した用紙やインクを使用している。</p> <p>・キャラクターを登場させ、分かりやすくなるように工夫している。</p>	<p>・デジタルコンテンツが利用できるよう「二次元コード」で示している。</p> <p>1年 117箇所 2年 71箇所 3年 76箇所</p> <p>・二次元コードについて、5種に分けて説明している。</p> <p>・ユニバーサルデザインを採用している。</p> <p>・環境に配慮した用紙やインクを使用している。</p> <p>・キャラクターを登場させ、分かりやすくなるように工夫している。</p>	<p>・デジタルコンテンツが利用できるよう「二次元コード」で示している。</p> <p>1年 191箇所 2年 144箇所 3年 170箇所</p> <p>・二次元コードについて、解説動画と復習問題に分けて説明している。</p> <p>・ユニバーサルデザインを採用している。</p> <p>・環境に配慮した用紙やインクを使用している。</p> <p>・キャラクターを登場させ、分かりやすくなるように工夫している。</p>	<p>・デジタルコンテンツが利用できるよう「二次元コード」で示している。</p> <p>1年 114箇所 2年 94箇所 3年 105箇所</p> <p>・二次元コードについて、アイコン補充4種とその他5種のアイコンに分けて説明している。</p> <p>・ユニバーサルデザインを採用している。</p> <p>・環境に配慮した用紙やインクを使用している。</p> <p>・キャラクターを登場させ、分かりやすくなるように工夫している。</p>	<p>・デジタルコンテンツが利用できるよう「二次元コード」で示している。</p> <p>1年 165箇所 2年 116箇所 3年 110箇所</p> <p>・二次元コードについて、6種に分けて説明している。</p> <p>・ユニバーサルデザインを採用している。</p> <p>・環境に配慮した用紙やインクを使用している。</p> <p>・キャラクターを登場させ、分かりやすくなるように工夫している。</p>

採択基準	基本観点	発行者名						
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	別表7	<ul style="list-style-type: none"> 人のキャラクターは多様性を意識している。 読みやすいUDフォントを採用している。 索引欄に言葉だけでなく、言葉に関連する図も記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人のキャラクターは多様性を意識している。 読みやすいUDフォントを採用している。 索引欄に重要事項をまとめて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人のキャラクターは多様性を意識している。 読みやすいUDフォントを採用している。 索引欄に使用する記号も記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人のキャラクターは多様性を意識している。 読みやすいUDフォントを採用している。 索引欄に同じ意味を持つ英語表記や、使用する記号をまとめて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人のキャラクターは多様性を意識している。 読みやすいUDフォントを採用している。 索引欄に使用する記号をまとめて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人のキャラクターは多様性を意識している。 読みやすいUDフォントを採用している。 索引欄に使用する記号をまとめて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人のキャラクターは多様性を意識している。 読みやすいUDフォントを採用している。 索引欄にふりがなを付け、同じ意味をもつ英語表記や、使用する記号をまとめて記載している。

調査項目		発行者名						
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
数学的な見方・考え方を働かせるための教科書の構成	1年	0章 算数から数学へ 1章 数の世界をひろげよう (正負の数) 2章 数字の言葉を身につけよう (文字と式) 3章 未知の数の求め方を考えよう (方程式) 4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう (比例と反比例) 5章 平面図形の見方をひろげよう (平面図形) 6章 立体の見方をひろげよう (立体図形) 7章 データを活用して判断しよう (データの分析と活用)	1章 数の世界のひろがり 2章 文字と式 3章 1次方程式 4章 量の変化と比例、反比例 5章 平面の図形 6章 空間の図形 7章 データの分析	1章 正の数・負の数 2章 文字式 3章 1次方程式 4章 比例と反比例 5章 平面図形 6章 空間図形 7章 データの活用	1章 整数の見方 2章 正の数、負の数 3章 文字と式 4章 方程式 5章 比例と反比例 6章 平面図形 7章 空間図形 8章 データの分析	1章 正の数・負の数 2章 文字の式 3章 方程式 4章 変化と対応 5章 平面図形 6章 空間図形 7章 データの活用	1章 正の数と負の数 2章 文字と式 3章 1次方程式 4章 比例と反比例 5章 平面図形 6章 空間図形 7章 データの活用	1章 正の数と負の数 2章 文字と式 3章 方程式 4章 比例と反比例 5章 平面図形 6章 空間図形 7章 データの活用
	2年	1章 文字を使って説明しよう (式の計算) 2章 方程式を利用して問題を解決しよう (連立方程式) 3章 関数を利用して問題を解決しよう (1次関数) 4章 図形の性質の調べ方を考えよう (平行と合同) 5章 図形の性質を見つけて証明しよう (三角形と四角形)	1章 式と計算 2章 連立方程式 3章 1次関数 4章 平行と合同 5章 三角形と四角形 6章 データの比較と箱ひげ図 7章 確率	1章 式の計算 2章 連立方程式 3章 1次関数 4章 図形の性質の調べ方 5章 三角形・四角形 6章 確率 7章 データの分析	1章 式の計算 2章 連立方程式 3章 1次関数 4章 平行と合同 5章 三角形と四角形 6章 確率 7章 データの分析	1章 式の計算 2章 連立方程式 3章 1次関数 4章 平行と合同 5章 三角形と四角形 6章 確率 7章 データの分析	1章 式の計算 2章 連立方程式 3章 一次関数 4章 図形の調べ方 5章 図形の性質と証明 6章 場合の数と確率 7章 箱ひげ図とデータの活用	1章 式の計算 2章 連立方程式 3章 1次関数 4章 図形の性質と合同 5章 三角形と四角形 6章 データの活用 7章 確率

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	6 1 啓林館	1 0 4 数研	1 1 6 日文
	6章 起こりやすさをとらえて説明しよう (確率) 7章 データを比較して判断しよう (データの比較)						
3年	1章 文字を使って説明しよう (多項式) 2章 数の世界をさらにひろげよう (平方根) 3章 方程式を利用して問題を解決しよう (2次方程式) 4章 関数の世界をひろげよう (関数 $y=ax^2$) 5章 形に着目して図形の性質を調べよう (相似な図形) 6章 円の性質を見つけて証明しよう (円) 7章 三平方の定理を活用しよう (三平方の定理) 8章 集団全体の傾向を推測しよう (標本調査)	1章 多項式 2章 平方根 3章 2次方程式 4章 関数 5章 相似と比 6章 円 7章 三平方の定理 8章 標本調査	1章 式の計算 2章 平方根 3章 2次方程式 4章 関数 $y=ax^2$ 5章 相似な図形 6章 円 7章 三平方の定理 8章 標本調査	1章 式の計算 2章 平方根 3章 2次方程式 4章 関数 $y=ax^2$ 5章 相似な図形 6章 円 7章 三平方の定理 8章 標本調査	1章 式の展開と因数分解 2章 平方根 3章 二次方程式 4章 関数 $y=ax^2$ 5章 図形と相似 6章 円の性質 7章 三平方の定理 8章 標本調査とデータの活用	1章 式の計算 2章 平方根 3章 2次方程式 4章 関数 $y=ax^2$ 5章 相似 6章 円 7章 三平方の定理 8章 標本調査	1章 式の展開と因数分解 2章 平方根 3章 2次方程式 4章 関数 $y=ax^2$ 5章 相似な図形 6章 円 7章 三平方の定理 8章 標本調査
本文構成	◇毎時間 ・「Q (考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「問」 ◇節末 ・「基本の問題」	◇毎時間 ・「活動 (考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「Q」	◇毎時間 ・「Q (考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「問」	◇毎時間 ・「Q (考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「問」	◇毎時間 ・「ひろげよう (考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「問」	◇毎時間 ・「Q (考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「問」	◇毎時間 ・「Q (考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「問」 ◇節末 ・「基本の問題」

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学のまど」 <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「章の問題A」 ・「章の問題B」 ・「深い学び」 ・「学びをひろげよう」 ・「学びのペース」 ・「学びのマップ」 <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数学の目でふり返ろう」 ・「数学の自由研究」 ・「補充の問題」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「たしかめよう」 <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふりかえろう」 ・「力をのぼそう」 ・「活用・探究」 ・「レポートを書こう」 ・「社会にリンク」 <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題学習」 ・「MATHFUL」 ・「復習」 ・「補充問題・総合問題」 	<ul style="list-style-type: none"> たかな ・「Tea Break」 ・「確かめよう」 <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめ問題」 ・「深めよう」 ・「役立つ数学」 ・「数学へのいざない」 ・「ふりかえり」 <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方をまとめよう」 ・「今の自分を知ろう」 ・「表現する力を身につけよう」 ・「疑問を考えよう」 ・「数学の歴史の話」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学の広場」 <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」 ・「章の問題」 ・「学んだことを活用しよう」 ・「力をのぼそう」 <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのマップ」 ・「数学の広場」 ・「学んだことを活用しよう」 ・「補充問題」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学ライブラリー」 <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びをたしかめよう」 ・「学びを身につけよう」 <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びをふりかえろう」 ・「力をつけよう」 ・「学びをいかそう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」など <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問題A」 ・「問題B」 ・「学んだことを活用しよう」 <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数学旅行」 ・「チャレンジ」 ・「まとめ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学のたんけん」 <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「章の問題」 ・「とりくんでみよう」 ・「次の章を学ぶ前に」 <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数学マイトライ」
<p>数学的活動を通して資質・能力を育成する工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「章の問題」の「活用の問題」や「学びをひろげよう」では、日常生活などの問題を数学に利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合ったりすることができる。 ・「数学のまど」「数学の目でふり返ろう」「数学の自由研究」では、日常にある数学に関連した問題や数学の歴史、発展的な内容を学習することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「活用・探究」「課題学習」では、日常生活や他教科の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合ったりすることができる。 ・「MATHFUL」「学びにプラス」では、日常にある数学に関連した問題や数学の歴史、発展的な内容を学習することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「深めよう」「まとめの問題」の活用の問題では日常生活の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合ったりすることができる。 ・「Tea Break」「疑問を考えよう」「役立つ数学」では、日常にある数学に関連した内容や発展的な内容を学習することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学んだことを活用しよう」では、日常生活の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合ったりすることができる。 ・「数学の広場」では、日常にある数学に関連した問題や数学の歴史、発展的な内容を学習することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びをいかそう」では、日常生活の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合ったりすることができる。 ・「数学ライブラリー」では、日常にある数学に関連した問題や数学の歴史、発展的な内容を学習することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学んだことを活用しよう」では、日常生活の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合ったりすることができる。 ・「やってみよう」「数学旅行」では、日常にある数学に関連した問題や数学の歴史、発展的な内容を学習することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「次の章を学ぶ前に」では、日常生活の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合ったりすることができる。 ・「数学のたんけん」「数学マイトライ」では、日常にある数学に関連した問題や数学の歴史、発展的な内容、数学とプログラミングとの関係を学習す

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	きる。						ることができる。

別表2

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
基礎的・基本的な内容の定着を図るための工夫	<ul style="list-style-type: none"> もくじに、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し系統的に学習できるようにしている。 1年0章が設けられており、算数と数学をつなげられるよう工夫している。 節末、章末の問題だけでなく、巻末に補充の問題を取り上げている。 巻末に「学びのベース」が設けられており、小学校算数科での既習事項がまとめられている。 巻末に、「〇年のふり返り」が設けられており、復習できるよう工夫がされている。 3年巻末に「学びのマップ」が設けられており、中学校3年間 	<ul style="list-style-type: none"> もくじに、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。 1年巻末に「小学校数のふり返り」のページを設けている。 前年での学習内容の学び直しができるよう、2、3年巻末に「〇年の復習」が設けられている。 1時間毎に「めあて」が示されている。 新たな学習内容に円滑に接続できるよう導入課題「考えよう」を設けている。 学びなおしができるよう、側注に「思い出そう」を設けている。 「例」にもタイトルを付け、復習が行いや 	<ul style="list-style-type: none"> もくじに、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。 1年に「ふりかえり～算数から数学へ～」のページを設けている。 内容ごとに目標が示されている。 学びなおしができるよう、側注に「ふりかえり」が設けられている。 項の学習を通して身につく内容を「どんなことがわかったかな」で明確にしている。 節末に「確かめよう」「計算力を高めよう」を設け、繰り返し練習で知識及び技能の習得を図り、振り 	<ul style="list-style-type: none"> もくじに、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。 章冒頭の「〇章〇〇を学習する前に」や側注の「算数から数学へ」で既習事項の関連内容を示している。 算数や前の学年の学習内容を確認できるよう、巻末に「学びのマップ」を設けている。 学びなおしができるよう、側注に「もどって確認」を設けている。 「例」にもタイトルを付け、学習内容の把握がしやすいように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年巻頭の「たいせつな考え方」では、算数の学習を振り返り、どのような見方・考え方を働かせてきたのか説明されている。 1年では、「ふりかえりCBT」として、各章に関連する既習事項を確認する問題が設けられている。 1年「算数のまとめ」では、二次元コードコンテンツで算数での学習内容を一覧で確認することができるよう工夫されている。 学びなおしができるよう、側注に「ふりかえり」を設けている。 「例、例題」にもタイトルを付け、復習が行いや 	<ul style="list-style-type: none"> 章冒頭の「〇章〇〇の学習の前に」で関連する既習事項を確認できるようにしている。 1年巻末に、算数と数学のつながりを確認しながら学習を振り返る「中学1年のまとめ」を設けている。 学びなおしができるよう、側注に「ふりかえり」を設けている。 「例」にもタイトルを付け、学習内容の把握がしやすいように工夫されている。 区切りごとに学習内容を確認する「まとめ」を設けている。 項目末に練習問題が設けられており、復習できるよう工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> もくじに、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。 1年巻頭に「算数のたしかめ」、巻末に「算数のたしかめ（問題編）」を設けている。 学びなおしができるよう、側注に「確かめ」を設けている。 各章の直前に「次の章を学ぶ前に」を設け、関連する既習事項を確認できるようにしている。 「例」「問」以外に側注にチャレンジ問題や「問」に関連した巻末の「補充問題」を設けている。 節末の「基本の問題」で理解の確認を行うとともに、振り返る

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<p>の学習内容の共通する考え方が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を細かな単位で確認できる「クイックチェック」が設けられており、つまずきを早い段階で発見できるよう工夫している。 節末の「基本の問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページも示している。 章末に「章の問題 AB」を設けている。 	<p>すいように工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「例」の内容の定着を図る「たしかめ」や内容の理解を行う「Q」、「プラス・ワン」を設けている。 巻末に本文の「Q」に対応した「補充問題」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図っている。 節末の「たしかめよう」で理解の確認を行うとともに、振り返るページも示している。 章末に「○章をふりかえろう」を設けている。 学習の区切りで、学んだことを振り返り、数学の有用性に気付く質問「学びの振り返り」を設けている。 	<p>返るページも示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 章末に理解の確認を行う「○章のまとめの問題」を設けている。 章末に「○章を学んで」を設け、「できるようになったこと」及び「さらに学んでみたいこと」を振り返ることができるようにしている。 巻末に理解の確認及び、復習をおこなう「○年の復習」を設けている。また、1年では「小学校の計算」も設けている。 	<p>本文に「例」の内容の定着を図る「たしかめ」を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末に本文の「問」に対応した「補充の問題」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図っている。 節末の「基本の問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページも示している。 章末に「学習のまとめ」を設け、学びの振り返りができるようにしている。 章末に理解の確認を行う「章の問題」を設けている。 	<p>「例、例題」、「問」以外に項末に「練習問題」を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末に本文の「問」に対応した「もっと練習しよう」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図っている。 章末に理解の確認を行う「章末問題」は、基礎基本「学びをたしかめよう」と応用力を養える「学びを身につけよう」の2部構成となっている。 巻末の「数学広場」の「学びを振り返ろう」では、1年では算数の内容、2、3年では前年の学習内容の振り返りができるような問題が設けられている。 	<p>節末の「確認問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末に理解の確認を行う「問題A、B」を設けている。 巻末に章の確認問題「チャレンジ編」を設けている。 1年巻末に「中学1年のまとめ」というタイトルで中学1年の内容を小学校算数の内容と合わせて振り返ることができるようにしている。 2、3年巻末に「中学○年のまとめ」としてこれまでに学んだ内容が一覧表となっており復習しやすいようにしている。 	<p>ページも示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 章末に理解の確認を行う「○章の問題」を設けている。 項末毎に「次の課題」を設定し、予習しやすくしている。

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
論理的、統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりするための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「深い学び」では、学習した内容をもとに、数や図形の性質から日常生活や身近なものに関する問題を取り上げている。 ・巻末の「大切にしたい見方・考え方」の中で、解決するまでの思考の道筋や見通しを立てるために必要な例なども分かりやすく示している。 ・「章の問題 B」では、章の内容を応用したり活用したりする問題になっており、また、活用の問題は、日常生活につなげた内容になっている。 ・デジタル教科書では、「D マーク」によって、インターネット上のコンテンツにリンクが繋がっており、動画などを使った学習を可能とし、さらに深い学びができるようになっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「活動」問題では、学んだ内容をもとに、調べたり考えたりできる問題となっている。 ・「力を伸ばそう」では、章の内容を応用したり、活用したりする問題となっている。 ・「活用・探究」では、学習した内容を使った様々な場面において、さらに探究する内容となっている。 ・「レポートを書こう」では、学んだことをきっかけに、研究方法やレポートの書き方の例を示している。 ・巻末の「課題学習」では、身の回りにおける数学を使った内容で興味を引く課題となっている。 ・MATHFUL では、日常生活に生かされている数学を紹介した読み物教材となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学的活動」では、学習した内容をもとに、課題を協働的に解決できるよう工夫されている。 ・「章のまとめの問題」では、基本・応用・活用と段階的に分けられており、各章の最後には学んだ内容がまとめられるように示されている。 ・章のまとめ問題に「活用」が設定されており、様々な活用問題が設けられている。 ・「深めよう」では、学習した内容をもとに、身の回りで使われている数学について考え、活用できるような問題となっている。 ・章末の「数学へのいざない」では、章の内容を広げるような数学の活用例が示されている。 ・「数学の力」では、数学を仕事に活用して 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなに説明しよう」では、気付いたことや分かったことなどを、相手に説明できる問題が示されている。 ・「Q」では、学習した内容をもとに、身の回りの数学を使った課題に対して、論理的に考察し、協働学習ができるよう工夫されている。 ・「数学の広場+」では、日常生活や他教科の学習に活用できる課題が示されている。 ・「レポートを書こう」では、調べたことを他の人に伝えるレポートの書き方の例を示している。 ・章末には「章のまとめ」があり、章の振り返りとともに、さらに発展した問題にも取り組める。 ・章末や巻末にある「学んだことを活用しよう+」では、学習した 	<ul style="list-style-type: none"> ・「説明しよう」では、自分の考えを表現できる問題が示されている。 ・「話しあおう」では、いろいろな考えを話し合い、学びをひろげるよう示されている。 ・「まとめよう」では、学んだ内容を振り返ったりまとめたりする活動ができるよう示されている。 ・章末にある「学びを身につけよう」では、基礎基本をもとに発展問題に取り組むことができ、二次元コードで大切なポイントや解説を確認することができる。 ・「数学ライブラリ」では、数学の既習事項と日常生活や他教科を関連させた教材が設けられている。 ・巻末の「学びをいかそう」では、数学を用いて身の回りの問題を 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」「調べよう」「考えよう」では、学習した内容に関連した話題や問題があり、内容をさらに深める活動ができるよう示されている。 ・「TRY」では、活動を通して解決するための課題があり、さらに思考力を深める内容となっている。 ・章末には、問題 A・問題 B があり、学習の定着の程度に応じて取り組むことができる。 ・生徒キャラクターが間違った考えを述べている場合や学習内容から派生する内容に関する記述があり、数学的に説明する機会がもてるよう工夫されている。 ・章末に「学んだことを活用しよう」が設けられており、身近な問題を数学的に解決できるよう工夫され 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題によって「考えよう」「話し合おう」「深めよう」のマークがあり、考えを深める問題が示されている。 ・「やってみよう」では、学んだ内容を活用して、さらに発展させ論理的に考えさせる問題として示されている。 ・章末の「とりくんでみよう」は、章の発展問題として示されている。 ・「学び合おう」では、対話シートを使って協働学習をする内容になっており、予想や比較、振り返りなどをまとめることができるように工夫されている。 ・「数学レポートをかこう」では、学んだことや調べたことをレポートにまとめる方法を示している。

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学の自由研究」では、日常生活や他教科との関連性を示しながら、レポートにまとめる課題となっている。 ・「数学×仕事」では、仕事の中で数学を活用している人のインタビューを掲載し、数学の有用性を感じられるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> いる人のインタビューが扱われている。 ・巻末では、発表のしかたやレポートのまとめ方の例を紹介し、数学を活用した問題を示している。 ・3年「高校へのかけ橋」では、高校数学の内容を扱っており、発展的な課題が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容を、身の回りの問題に活用し、さらに考えを深めることができる課題が準備されている。 ・「数学しごと人」では、数学を仕事に生かしている人のインタビュー記事が扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 解決する課題や、数学を活用して発展・深化する課題が示されている。 ・巻末の「学びをいかそう」の中には、レポート例が示されており、自由研究を行う際の参考例が示されている。 ・「〇章のあしあと」では、学習全体を振り返り、分かったこと、できるようになったこと、などをまとめる活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ている。 ・巻末に「数学旅行」が設けられており、これまでに学んだ内容を活用したコラムが掲載されている。 ・各学年の冒頭にSDGsと数学の学習の関連について述べられている。 ・「学んだことを活用しよう」「やってみよう」「調べよう」「考えよう」では、数学以外の教科の内容とも関連付けられるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDGsと数学」では、日常生活や社会の中の数学を扱い、数学を通してSDGsに対する理解が深められるよう工夫されている。 ・巻末で、数学と社会とのつながりにおける話が紹介されている。 ・「活用の問題」で、活用する力をさらに伸ばすための問題が準備されている。 ・「数学を仕事に生かす」では、数学を仕事に生かしている方の記事となっており、キャリア教育の一助となっている。

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
生徒が見通しをもって取り組んだり、学んだことを振り返ったりするための工夫	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入でデジタルコンテンツの動画やワークシートを利用することで、学習内容の見通しを持つことができるように工夫されている。 デジタルコンテンツのフラッシュカードを利用して、繰り返し練習ができるように工夫されている。 学習課題に対して、問題「Q」があり、考える手がかり「①②…」、「例」、「問」という流れで見通しをもって学習できるように工夫されている。 各章に考える楽しさを実感できる「深い学び」を設定し、「問題をつかむ」、「見通しをたてる」、「問題を解決する」など、側注に問題解決のプロセスを示すことで、学習過程を意識できるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入で生活に関連した内容を考えることで、学習を身近に感じられるように工夫されている。 各項に「めあて」があり、「活動」、「例」、「Q」という流れで見通しをもって学習できるように工夫されている。 問題発見、課題解決の流れとして、「問題を見いだそう」、「解決しよう」、「深めよう」の4つのステップを示すことで、学習過程を意識できるように工夫されている。 章末の「学びにプラス」により、学習した内容の視点を増やすことで学習の振り返りができるように工夫されている。 「ノートを使い方」では、学習したことを振り返られるようにまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入でデジタルコンテンツを利用して、数学的な活動ができるように工夫されている。 各章の導入で生活に関連したことについて考えることで、見通しを持つことができるように工夫されている。 各節に「目標」があり、「Q」、「例」、「問」という流れで見通しをもって学習できるように工夫されている。 各章に考える楽しさを実感できる数学的な活動の問題があり、「問題を見つけよう」「予想しよう」「よい方法を見つけよう」など、側注に問題解決のプロセスを示すことで、学習過程を意識できるように工夫されている。 巻末の「見方・考え方をまとめよう」で、その学年での思考の流れ 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入で生活に関わる写真が示されている。 各章の導入で生活に関連したことについて考えることで、見通しを持つことができるように工夫されている。 「問題を見いだす」、「問題をつかむ」、「見通しを立てる」、「問題を解決する」など、側注に問題解決のプロセスを示すことで、学習過程を意識できるように工夫されている。 章末の「学習のまとめ」で、学習した内容を振り返ることができるように工夫されている。デジタルコンテンツに解答が示されている。 章末の学習感想の例を参考にして、この章の学習を振り返ることができるように工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入でデジタルコンテンツを利用して、数学的な活動ができるように工夫されている。 各節の導入に身の回りの題材を取り上げることで数学が生活や社会にどのようにつながっているかを実感できるように工夫されている。 各節に「ひろげよう」があり、「例」、「問」という流れで見通しをもって学習できるように工夫されている。 各節の「利用の問題」では、「ステップ1」で場面の状況を整理して問題を設定し、「ステップ2」で見通しを立てて、問題を解決し、「ステップ3」で問題の過程を振り返ったり、気付いたことやもっと調べてみたいことを話し合い、問題を深めたりするという3つの場面を設定すること 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の学習の前に「ふりかえり」のページをもうけている。 各章の導入でデジタルコンテンツを利用して問題を解いたり、アニメーションを利用したりして数学的な活動ができるように工夫されている。 導入で人物キャラクターによる対話を入れることで、学ぶ内容の見通しを持つことができるように工夫されている。 活動を通して解決するための課題「TRY」と学習の中で大事にしたい問いかけ「Q」を提示するという流れで見通しをもって学習できるように工夫されている。 「ノートの作り方」では、学習したことを振り返られるようにまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」のページをもうけている。 導入で人物キャラクターによる対話を入れることで、学ぶ内容の見通しを持つことができるように工夫されている。 各章の導入で活動を取り入れることで、見通しを持つことができるように工夫されている。 各節では、学習の出発点となる問題「Q」と「めあて」、「例」、「問」という流れで見通しをもって学習できるように工夫されている。 日常や社会の事象、数学の事象から問題を見い出した「学び合おう」では、対話を通して学び合う構成で、「見通しをもとう」、「考えよう」「話し合おう」、「振り返ろう」、「深めよう」な

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びをふり返ろう」や「虫めがねマークの囲み」により、見方・考え方を振り返られるように工夫されている。 ・「数学マイノート」では、学んだことを使って新しい問題を解決できるようにまとめられている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・それを整理し、振り返ることができるように工夫されている。 ・各章の最後に「〇〇を学んで」があり、学習内容を振り返ることができるように工夫されている。 ・「ノートの使い方」では、学習したことを振り返ることができるようにまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「工夫してノートを書こう」では、学習したことを振り返ることができるようにまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・で、学習過程を意識できるように工夫されている。 ・「ノートをくふうして、学習に役立てよう」では、学習したことを振り返ることができるようにまとめられている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ど、学習過程を意識できるように工夫されている。 ・「ノートのくふう」では、学習したことを振り返られるようにまとめられている。

調査項目		発行者名						
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
発展的な学習の内容	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 ・「数学のまど」で学習に関連した読み物や問題を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 ・「活用・探究」や「MATHFUL」で、数学が生活に生かされていることや、楽しく豊かな数学の世界を知ることができる内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 ・「Tea Break」「数学へのいざない」「深めよう」「数学の歴史の話」で数学に関連した読み物や内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 ・「数学の広場」や「数学の広場+」で数学に関連した読み物や内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学びをいかそう」の「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 ・「数学ライブラリー」で数学に関連した読み物や内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 ・「やってみよう」「調べよう」「考えよう」や「数学旅行」などで学習に関連した読み物や問題を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。 ・「数学研究室」で数学への興味が高まる課題を示している。 ・「数学のたんけん」で学習した内容に関連のある話を示している。
	1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇「発展マーク」 ・同類項 ・グラフを使って考えよう ・フラクタル模様を知ろう ◇「数学のまど」 ・エラトステネスのふるい ・身のまわりの正負の数 ・トランプゲーム ・数の石垣 ・小町算 ・江戸時代に使われた文字 ・時間をはかるくふう ・日本の伝統模様 ・おうぎ形の面積 ・球の体積と表面積の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「発展マーク」 ・三角形と円 ・立方体の切り口にできる図形 ◇「活用・探究」 ・海外に住む友達と交流しよう ・数当てゲームの秘密 ・日常の場面で数学の問題をつくるには ・震源から何 km 離れているかな ・エンブレムのしくみを解明しよう ・ヒンメリを作ろう ・ライバルチームの投手の攻略方法を考えよう ◇「MATHFUL」 ・魔方陣 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「発展マーク」 ・a^1 や a^0 はあるのかな？ ・2 次の項や 2 次式もあるのかな？ ・カレンダーの数の秘密を考えよう ・不等式の解を求めよう ・三角形に接する円を作図しよう ・オイラーの多面体定理 ◇「Tea Break」 ・トランプゲームで計算しよう ・「6-8」の計算と意味 ・減法でも交換法則・結合法則は成り立つの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「発展マーク」 ・薬師算 ・累乗どうしの乗法 ・三角形の外心と内心 ◇「数学の広場」 ・エラトステネスのふるい ・素数ゼミ ・トランプゲーム ・魔法陣 ・どちらが大きい？ ・方程式の由来 ・方程式を工夫して解く ・ディオファントスの一生 ・問題づくり ・「関数」の由来 ・座標平面 ・比例の関係と反比例の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「学びをいかそう」の「発展マーク」 ・最大公約数と最小公倍数 ◇「学びをいかそう」 ・何時に話そうかな？ ・おにぎりを売ろうかな？ ・どちらの店で買おうかな？ ・緊急地震速報 ◇「数学ライブラリー」 ・琵琶湖の水位 ・エラトステネスのふるい ・小型犬の年齢と人間の年齢 ・表計算ソフトと等式不等式 ・「方程式」の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「発展マーク」 ・三角形の外心、内心 ・立体の切断 ◇「やってみよう」「調べよう」「考えよう」など ・100 以下の素数を求めよう ・文字の意味 ・音の速さ ・くふうした解き方 ・式と表とグラフ ・地震の揺れ ・周の長さや面積 ・まとめられたデータの平均値 ・累積相対度数と中央値 ・PPDAC サイクル ◇「数学旅行」 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「発展マーク」 ・三角形の内心と外心 ・多面体の面、頂点、辺の数の関係 ・立体の切り口にできる図形 ◇「数学研究室」 ・小町算 ・地震の P 波と S 波 ・正多面体が 5 種類しかない理由 ◇「数学のたんけん」 ・トランプゲームをしよう！ ・減法のいろいろな見方 ・最大公約数と最小公倍数の求め方 ・エラトステネスのふるい ・九章算術

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
<ul style="list-style-type: none"> ・降水確率 ・データにもとづいた問題解決の過程 	<ul style="list-style-type: none"> ・記号や文字の起源 ・素数の力で生き抜いてきたセミ ・長く認められなかった負の数 ・身のまわりのマイナス ・0の発見 ・0でわることを考えないのはなぜ？ ・私たちの食料とフード・マイレージ ・座標は位置を知らせる道具 ・関数で健康管理！ ・船が安全に進むための工夫 ・手まり模様の秘密 ・データを正しく活用するには 	<ul style="list-style-type: none"> ・0でわることはできる？ ・記号の由来「+、-」 ・素数の話 ・用語の由来「方程式」 ・等式の性質の見方 ・用語の由来「関数」 ・竿ばかり ・樹木の成長に見られる比例 ・正多面体の双対性 ・模型で考える角錐の体積 ・その他の代表値 ・分布のかたよりと代表値 ・降水確率 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「数学へのいざない」 ・RSA暗号 ・和算における文字を使った式 ・双曲線の先端は？ ・資料集めに利用しやすいホームページ ◇「深めよう」 ・時刻がもどる？ ・カーボンニュートラルを目指して ・震源までの距離は？ ・ルーローの三角形 ・体積や表面積を比べよう ・POSデータとABC分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランドルト環 ・星の色と表面温度の関係 ・ルーローの三角形 ・おうぎ形の面積の求め方 ・日本の伝統模様 ・正多面体が5種類しかない理由 ・見取図 ・身のまわりの投影図 ・どんな立体になるのかな ・棒グラフとヒストグラム ・分布の形と代表値 ・累積相対度数を表すグラフ ◇「数学の広場+」 ・円周率 π の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディオファントスの生涯 ・古代火時計 ・モビール ・日本の伝統模様 ・円周率の活躍は続く ・正多面体 ・側面図 ・垂直な2平面と投影図 ・回転体のかざり ・アルキメデスの発見 ・表計算ソフトを使って ・降水確率60%なら、かさが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・塵劫記 ・ディオファントスの一生 ・深海の水圧 ・封筒で立体を作ってみよう ・日本の気候変動 ・降水確率 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディオファントスの一生 ・円周率の歴史 ・3つの四角錐と立方体 ・数量を表す文字 ・表計算ソフトの活用 ・累積相対度数を折れ線グラフに表すと

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
			◇「数学の歴史の話」 ・ディオファントスと方程式 ・円周率 π の話				
2年	◇「発展マーク」 ・文字が3つに増えたら… ・気象予報士 ・パスカルとフェルマーの手紙 ◇「数学のまど」 ・公式で使う文字 ・バナナ1ふさとつり合うのは？ ・ダイヤグラム ・こんなところにも平行四辺形 ・確率論の始まり ・将棋の先手の決め方	◇「発展マーク」 ・3つの文字を含む連立方程式 ・期待値 ◇「活用・探究」 ・倍数の見つけ方 ・どんな運動をどのくらい行えばいい？ ・どちらの電球を買う？ ・穴のあいた多角形の角の和を求めよう ・折り紙の不思議な性質 ・友好都市の気温を比べると ・トスカナ大公の質問に答えよう ◇「MATHFUL」 ・古くから伝わる連立方程式 ・まだある！数の世界 ・さっさ立てに挑戦しよう ・暮らしに役立つ関数	◇「発展マーク」 ・3つの文字を含む連立方程式を解こう ・GPSと連立方程式の関係 ・CTスキャンと数学 ・気温とアイスクリームの売り上げ ・平均値と外れ値 ・どちらが有利？ ◇「Tea Break」 ・17列目の数の不思議 ・解の確かめはなぜ必要？ ・どんな関数なのか？ ・傾きが0の直線 ・解が1組にならない連立方程式 ・用語の由来「錯角」 ・鉛筆の回転角は何度？ ・四角形の合同条件はあるの？ ・ダランベールの誤り ・確率論の幕開け ◇「数学へのいざない」 ・誕生日当て ・トラス構造	◇「発展マーク」 ・文字を使った式の学習のひろがり ・文字が3つあるときはどうすればよいのかな？ ・CTスキャンのしくみ ・期待値 ・立体の切り口 ◇「数学の広場」 ・自転車のサイズと進む距離 ・工夫して文字を消去してみよう ・AEDと救命の可能性 ・グラフはどんな形になるかな？ ・ダイヤグラム ・スロープの勾配 ・「同位角」「錯角」の意味 ・多角形の外角の和 ・星形五角形の5つの角の和 ・ユークリッドの原論 ・穴のあいている図形の角 ・平行四辺形の性質の別証明 ・ミウラ折り	◇「学びをいかそう」の「発展マーク」 ・どちらのくじをひこ うかな？ ◇「学びをいかそう」 ・スタートの位置はどこ？ ・体を動かして健康を維持しよう ・料金が安いのは ・角の大きさを求めよう ・へこみの部分の角の大きさ ・大雨の発生状況を調べよう ・社会見学に行こう ◇「数学ライブラリー」 ・倍数の見分け方 ・雷さまはどこ？ ・AEDの重要性がわかるグラフ ・1周した結果は… ・2組の辺とその間にない角の場合には？ ・等しい角の作図 ・ユークリッドの原論 ・出やすい数の組み合わせは？	◇「発展マーク」 ・あることがらが起こったときの確率 ・誕生日が同じ日である人がいる確率 ◇「やってみよう」「調べよう」「考えよう」など ・文字式のグループ分け ・連続する3つの整数の和 ・3の倍数の見分け方 ・カレンダーの数の並び ・解のたしかめ ・斜面の傾き ・連立方程式の解とグラフ ・ダイヤグラム ・錯角 ◇「数学旅行」 ・温度の単位 ・LED電球はお得？ ・星形の図形の角の和 ・ユークリッド原論 ・ビッグデータ	◇「発展マーク」 ・3つの文字を含む連立方程式 ・期待値 ◇「数学研究室」 ・連続する10個の整数の和 ・さっさ立て ・食塩水の濃度 ・ダイヤグラム ・条件を変えて考えよう ・1970年の大阪万博の入場者数 ◇「数学のたんけん」 ・雷に気をつけよう ・勾配 ・同位角と錯角 ・ユークリッドと幾何学 ・反例を示す ・ヒストグラムと箱ひげ図の関係

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
			<ul style="list-style-type: none"> ワイパーの形 迷惑メールの判別法 グラフの読み取りの注意点 <p>◇「深めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤道のまわりにロープを巻くと？ ダイヤグラム 星形 n 角形 条件を変えて考えよう どちらにかける？ コンピュータを用いた四分位数の求め方 <p>◇「数学の歴史の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> パスカルとフェルマーになってみよう 	<ul style="list-style-type: none"> 折り紙で正三角形をつくろう 勝負の公平性 ダランベールの誤り 交通機関で活用されるデータ <p>◇「数学の広場+</p> <ul style="list-style-type: none"> 点の数と面積の関係 点字のしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> 箱ひげ図のよさ 箱ひげ図から読みとれないこと 		
3年	<p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな数の分母の有理化 瞬間の速さ 容積を最大にするには？ <p>◇「数学のまど」</p> <ul style="list-style-type: none"> $\sqrt{2}$ は本当に分数で表せない？ 平方根の近似値のおぼえ方 続いた自然数の 2 乗の和 身にまわりの放物線 数直線を使った積や商の表し方 	<p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> 多項式を累乗する展開 分母が多項式であるときの有理化 関数 $y=ax^2$ のグラフと一次関数のグラフの交点 三角形の重心 方べきの定理 まだある！円の性質 <p>◇「活用・探究」</p> <ul style="list-style-type: none"> 素早く計算できるわけを考えよう マグニチュードと地震のエネルギー 	<p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗法公式を使った分母の有理化 2 次方程式のおもしろい解き方 逆関数 瞬間の速さ 方べきの定理 内接円 動かして考えよう 放物線はみな相似？ <p>◇「Tea Break」</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆算の計算は展開？ 表を使った因数分解 用語の由来「平方根、$\sqrt{\quad}$」 	<p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗法公式を使った分母の有理化 2 次関数 放物線と直線の交点 三角形の重心 円のいろいろな性質 <p>◇「数学の広場」</p> <ul style="list-style-type: none"> 連続する自然数の和 2 つの自然数の積を簡単に求める方法 「アロゴン」とよばれた数 循環小数 2 次方程式の解の個数 	<p>◇「学びをいかそう」の「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明 変化の割合の計算 グラフの交点の座標 三角形の五心 円に内接する四角形 接線と弦のつくる角 方べきの定理 <p>◇「学びをいかそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 容器をつくろう 全身がうつる鏡 曲尺の秘密 三平方の定理の証明 データを整理すると 	<p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明 放物線と直線の交点 三角形の重心と内心 円に関するいろいろな性質 皆既日食と金環日食 <p>◇「やってみよう」「調べよう」「考えよう」など</p> <ul style="list-style-type: none"> 計算の工夫 カレンダーの問題 循環小数 2 次方程式の解き方 身近にある放物線 	<p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> 分母が多項式であるときの有理化 放物線と放物線の交点 関数 $y=2^x$ $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明 円周角を動かしていくと… <p>◇「数学研究室」</p> <ul style="list-style-type: none"> 便利な計算方法 黄金比 三平方の定理の証明 和算の秘密を明かした大名

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> ・星形の角の和 ・平方根の長さの作図 ・サッカーコートをつくるには？ ・ヒポクラテスの月形 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーの中の数を調べよう ・図形のなかにいろいろな関数を見つけよう ・パスタメジャーを作ろう ・ぴったり入る撮影位置はどこ？ ・折り紙のなかに数学を見つけよう ・選挙結果を予測しよう <p>◇「MATHFUL」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$\sqrt{2}$ が有理数でないわけ ・数のひろがり ・数の読み方と言語 ・身近にある放物線 ・国勢調査と標本調査 ・2乗すると負の数になる数！？ ・落下運動の発見 ・リレーのバトンパス ・相似を生かして ・三平方の定理のいろいろな証明 ・偏りをさけるには ・どうやって認識しているの？ ・アイシュタインもおどろいたお金のしくみ ・江戸時代に数学が流行！？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・循環小数 ・バビロニアの粘土板 ・どれが解きやすい？ ・身近に見られる放物線 ・リレーのバトンパス ・木の高さを見積もる知恵 ・身のまわりのものの体積 ・記号の由来「≡、∞」 ・ピタゴラス数 ・ヒポクラテスの月 ・フェルマーの最終定理 ・無作為抽出できている？ <p>◇「数学へのいざない」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・因数分解で売り上げアップ！ ・日本人に好まれやすい白銀比 ・小学生のガウス ・数学者 岡潔 ・デッサンと相似 ・三四五 ・開票率 1%で当選確実？ <p>◇「深めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単に計算する方法 ・丸太からとれる角材は？ ・スピードと停止距離の関係は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した方程式 ・古代バビロニアの数学の問題に挑戦 ・記号や式を英語で読む ・身のまわりで見られる曲線 ・身のまわりで活躍する放物線 ・平面図形の中に潜む放物線 ・ガリレオガリレイの実験 ・相似な図形のかき方 ・三角形と比の定理の証明 ・線分の長さの和 ・身のまわりにある円の性質 ・円の中心の求め方 ・三平方の定理の証明パズル ・ピタゴラス数 ・社会で活躍する三平方の定理 ・平方根の長さの線分のかき方 <p>◇「数学の広場+」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えよう！地球温暖化問題 ・黄金比 ・和算と算学 	<p>きには？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害から身を守ろう ・社会見学に行こう <p>◇「数学ライブラリー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式から公式を導く ・素因数分解 ・すぐにできる乗法の計算 ・平方根の値の覚え方 ・循環小数と分数 ・ディオファントスの考えた解き方 ・タレスと円 ・大矩 ・国勢調査 ・魚の数を調べるには ・質問紙調査と Web アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均の速さ ・関数かどうか判断しよう ・3等分する方法 ・三平方の定理の証明 ・コースター作り ・三平方の定理の逆 ・山の山頂から見渡せる距離 ・コンピュータを利用した無作為抽出 ・全数調査と標本調査 <p>◇「数学旅行」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミクロの世界 ・リレーのバトンパス ・曲尺と数学 ・ピタゴラス ・日本の数学～和算～ ・選挙速報 	<p>◇「数学のたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根号のついた数の近似値の覚え方 ・記号$\sqrt{\quad}$の起源 ・放物線 ・記号∞の起源 ・ピタゴラス数 ・過去の標本調査での失敗

調査項目	発行者名							
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文	
		<ul style="list-style-type: none"> 日本のことばと数 数学から見る芸術の世界 	<ul style="list-style-type: none"> 釣瓶岳から富士山が撮影できた？ 久山町研究 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「数学の歴史の話」 地球の測り方 				

別表6

調査項目		発行者名						
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
日常生活や他教科等と関わる内容	全体	<ul style="list-style-type: none"> 「章のとびら」「章の問題」で、学んだ数学を他教科の学習や社会に活用する問題を示している。 「数学のまど」や「数学の自由研究」で日常生活に関わる内容や他教科に活用する内容を示している。 「数学×仕事」のコーナーで職業の中で数学が活用されている例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「～の利用」の最初や「活用・探究」で学んだ数学を他教科の学習や社会に活用する問題を示している。 「社会にリンク」では、職業と数学との関わりをインタビュー形式で示している。 「MATHFUL」では、数学と身の回りの事象との関連に関心が高まる話題を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「深めよう」「Tea Break」「数学へのいざい」で数学の内容を深めたり広げたりする内容を示している。 章のまとめの「活用」で、日常生活に関する問題や、環境に関する問題を示している。 巻末の「さらなる数学へ」で社会や歴史に関連した課題を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「章のとびら」では実社会や日常生活の数学にかかわる話題を取り上げている。 「数学の広場」で社会や日常生活に関わる内容や他教科に活用する内容を示している。 「数学しごと人」で職業の中で数学が活用されている例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「数学ライブラリー」で身の回りで数学が活用されている場面を示している。 「学習のとびら」や「～の利用」の最初に日常での利用場面を示している。 「二次元コード」に日常生活に関連する内容が示されている。 巻末の「学びをいかそう」で身の回りの問題を解決する問題を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「考えよう」「見つけよう」などで日常生活に関わる内容や他教科の学習に活用する内容を示している。 「学んだことを活用しよう」で日常生活に関わる内容や他教科に活用する問題を示している。 「数学旅行」で数学を生かして仕事をしている人のインタビューや数学と社会の関わりを話題を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「数学のたんけん」「数学研究室」で学習した内容に関連する数学の内容を示している。 「SDGs と数学」「数学を仕事に生かす」で日常生活や社会仕事の中にある数学の内容を示している。 巻末の「活用の問題」「学び合おう」で日常生活や社会の事象から問題を見出し解決する課題を示している。
	1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇「章のとびら」「章の問題」 時差を求める問題(社会) どちらの店で買うほうが安くなるか？(身のまわり) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「～の利用」「活用・探究」 みんなの記録と自分の記録を比べよう(保健体育) 海外に住む友だちと交流しよう(社会・国) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「深めよう」 時刻がもどる？ カーボンニュートラルを目指して 震源までの距離は？ 体積や表面積を比べよう 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「Let's Try」 いろいろな形の長方形を作ってみよう！ -のついた数を探してみよう！ 画びょうは何個必要なのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「数学ライブラリー」 琵琶湖の水位 表計算ソフトと等式・不等式 ディオファントスの一生 古代火時計 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「考えよう」「備えよう」 音の速さ 地震の揺れ ◇「学んだことを活用しよう」 日本を基準としたひ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「数学のたんけん」 エラトステネスのふるい 九章算術 円周率の歴史 数量を表す文字 表計算ソフトの活用

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> 縮尺の問題 (社会) 時間と水の深さを表すグラフはどれか (身のまわり) 漂着ごみの量を推測する問題 (社会) コンタクトレンズの空ケースの高さと個数の関係 (社会) 車いすの方向転換に必要な歩道の幅を作図する問題 (社会) 情報機器を使う時間と睡眠時間の問題 (身のまわり) <p>◇「数学のまど」</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統模様 (家庭) <p>◇「数学×仕事」</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学×スポーツ栄養士 数学×伝統工芸士 <p>◇「数学の自由研究」</p> <ul style="list-style-type: none"> 素数のひみつを調べよう (技術) 円周率πの歴史 (技術) ランドルト環のしくみ (保健体育) 地震のゆれの予測のしくみ (理科) エッシャーに挑戦しよう (美術) 	<ul style="list-style-type: none"> 際 (二次元コード) 震源から何 km 離れているかな (理科・防災) 万華鏡の模様の見方を考えよう (伝統文化) エンブレムのしくみを解明しよう (美術) ヒンメリを作ろう (美術) (二次元コード) 自動車の燃費を比べよう (環境) ライバルチームの投手の攻略方法を考えよう (スポーツ) <p>◇「MATHFUL」</p> <ul style="list-style-type: none"> 記号や文字の起源 素数の力で生き抜いてきたセミ (理科) 長く認められなかった負の数 (歴史) 0 の発見 (歴史) 私たちの食料をフード・マイレージ (環境) 関数で健康管理 (健康) 船が安全に進むための工夫 (地理) 手まり模様の秘密 (伝統文化) 	<ul style="list-style-type: none"> POS データと ABC 分析 <p>◇「Tea Break」</p> <ul style="list-style-type: none"> 記号の由来 降水確率 <p>◇「数学へのいざない」</p> <ul style="list-style-type: none"> RSA 暗号 文字を使った式 竿ばかり 樹木の成長に見られる比例 ルーローの三角形 <p>◇「活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽電池 (エンジニア) フードマイレージ ペットボトルキャップ 地図上の位置 クロカンブッシュ (パティシエ) <p>◇「さらなる数学へ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 海面水位の上昇を抑えるためにできることを考えよう 米は何粒? 複雑な形の面積は? 道路のカーブの半径は? 	<ul style="list-style-type: none"> 何人参加していたのかな? いつ水を止めればよいか? 宝物はどこにあるかな? 立体をなかま分けしてみよう! 滞空時間の長い紙コプターを作ろう! <p>◇「数学の広場」</p> <ul style="list-style-type: none"> エラストネスのふるい 素数ゼミ 魔法陣 自動車のナンバープレートを使った遊び センチュリーパズル 累乗どうしの乗法 ランドルト環 (数学と実生活) ルーローの三角形 (数学と実生活) 日本の伝統模様 (数学と実生活) 身のまわりの投影図 (数学と実生活) 星の色と表面温度の関係 <p>◇「数学しごと人」</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象予報士 数学者 スポーツアナリスト 	<ul style="list-style-type: none"> モバイル 日本の伝統模様 円周率の活躍は続く 表計算ソフトを使って 降水確率 60%なら、かさが必要? <p>◇「学習のとびら」「～の利用」</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 日乗り放題のチケットを買った方がいい? 収穫量の目標を決めよう リサイクルすると? みんなで仲良く分けよう 対空時間の長いリボンをつくろう <p>◇「学びをいかそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 何時に話そうかな? おにぎりを売ろう ランドルト環 最高気温の推移から気候変動について調べよう 回転焼きができるまで <p>◇「二次元コード」</p> <ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖の水位のものがたり 表計算ソフトの IF 文の解説 	<ul style="list-style-type: none"> 標準時差つくる 貸出冊数の割合がのびた学年を表彰する ランドルト環 アイスクリームの容器は何個あれば足りるのか <p>◇「Link 資料」(二次元コード)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統文様 <p>◇「数学旅行」</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象予報士ってどんな職業 塵劫記 ディオファントスの一生 深海の水圧 封筒で立体を作ってみよう 地球の温暖化の問題 降水確率 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「SDGs と数学」 大分国際車いすマラソン ◇「数学を仕事にいかす」 図をかくと見えてくる音の広がり ◇「数学研究室」 小町算 (歴史・伝統と文化) 地震の P 波と S 波 (防災) ◇「学び合おう」 何 m 走ることができるかを考えよう ◇「学び合おう」 スタート位置を決めよう 総費用で比べよう QR ◇「活用の問題」 ドッジボール大会の計画 水の節約 診察の待ち時間を短くする取り組み

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
		<ul style="list-style-type: none"> ◇「社会にリンク」「二次元コード」 ・パイロット ・地震津波火山防災の研究者 ・アーティスト ・スポーツデータアナリスト 			<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統模様を見てみよう ・円周率の世界記録に挑戦 ・降水確率とは ・エコキャップ運動とは？ ・紙のリサイクルのしくみ ・日本国際博覧会 ・食品ロスとは？ ・どちらの店で買おうかな ・目のしくみ ・緊急地震速報 ・過去の気象データ、環境教室 ・回転焼きの大きさを調べよう ・ヒンメリのつくり方 		
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◇「章のとびら」「章の問題」 ・必要な栄養素をとれる副菜を考える（家庭・身のまわり） ・二酸化炭素の排出量の削減について（社会） ・飲み物はいつまで冷たく保てるのか（身のまわり） ・ドローンが出発してから戻ってくるまでの時間とバッテリーの残量（社会） ・工具箱のアーム（身のまわり） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「～の利用」「活用・探究」 ・どんな運動をどれくらい行えばいい？（保健体育） ・富士山八号目の気温を予想してみよう（理科） ◇「MATHFUL」 ・古くから伝わる連立方程式（歴史） ・さっさ立てに挑戦しよう（歴史） ・暮らしに役立つ関数 ・不思議な錯視の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「深めよう」 ・赤道のまわりにロープを巻くと？ ・CT スキャンと数学 ・どちらにかける？ ◇「数学へのいざない」 ・GPS と連立方程式 ・気温とアイスクリームの売り上げ ・トラス構造 ・ワイパーの形 ・迷惑メールの判別法 ◇「活用」 ・投手の練習方法 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「数学の広場」 ・自転車のサイズと進む距離（数学と生活） ・CT スキャンのしくみ（数学と実生活） ・AED と救命の可能性（数学と生活） ・グラフはどんな形になるかな？（数学と生活） ・ダイアグラム（数学と実生活） ・スロープの勾配（数学と実生活） ・ミウラ折り（数学と実社会） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「数学ライブラリー」 ・雷さまはどこ？ ・AED の重要性がわかるグラフ ◇「学習のとびら」「～の利用」 ・ダム貯水量を予想しよう ◇「学びをいかそう」 ・スタート位置はどこ？ ・体を動かして健康を維持しよう ・料金が安いのは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「見つけよう」 ・斜面の傾き ・ダイアグラム ◇「学んだことを活用しよう」 ・お菓子の分け方 ・世界の平均気温の上昇 ・川幅を求める方法 ・どのルートで駅に向かうか ◇「数学旅行」 ・スポーツアナリスト ・温度の単位 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「数学のたんけん」 ・雷に気をつけよう ・勾配（福祉・生活） ・ユークリッドと幾何学（歴史） ・反例をしめす ◇「SDGs と数学」 ・二酸化炭素と地球温暖化 ◇「数学を仕事に生かす」 ・数学を使って表現される人工衛星の世界

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<p>まわり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃんけん(身のまわり) ・牛乳の販売数の傾向(社会) ・月ごとの発電量を読み取る(社会・理科) <p>◇「数学のまど」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤグラム ・こんなところにも平行四辺形 ・将棋の先手の決め方 ・箱ひげ図を使った分析 <p>◇「数学×仕事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学×気象予報士 ・数学×ロボット開発者 ・数学×マーケティングアナリスト <p>◇「数学の自由研究」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17段目のふしぎ(技術) ・食品ロスの未来を予測しよう(家庭) ・アメリカホームステイ(英語) ・点字のきまりを知ろう(社会) 	<p>(美術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字を生んだブラユの想い <p>◇「社会にリンク」「二次元コード」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士、学校栄養職員 ・鉄道運行管理 ・パズル作家 ・データサイエンティスト 	<p>◇「さらなる数学へ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレードからできることを考えよう。 ・気温は上がっている？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝負の公平性(数学と実生活) ・期待値(数学と実社会) ・交通機関で活用されるデータ(数学と実社会) ・点字のしくみ(数学と実社会) <p>◇「数学しごと人」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁護士 	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨の発生状況を調べよう ・明太子ができるまで <p>◇「二次元コード」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界一周道路を見てみよう ・車いすバスケットボールで大活躍 ・音がおくれて届くようす ・心肺蘇生法とAED ・陸上から船までの距離を測るには ・タコをつくろう ・一般廃棄物処理実態実験調査結果 ・身体活動の促進(厚生労働省) ・大雨などの情報(気象庁) 	<ul style="list-style-type: none"> ・LED電球はお得？ ・ビッグデータ 	<p>◇「数学研究室」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さっさ立て(歴史・伝統と文化) ・食塩水の濃度(理科) ・ダイヤグラム(生活) ・1970年の大阪万博の入学者数(生活) <p>◇「学び合おう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車が止まるまでの距離を考えよう ・船の位置を見つけよう ・どこまで見えるか調べよう <p>◇「活用の問題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルキャップの重さと個数
3年	<p>◇「章のとびら」「章の問題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙はどんな長方形(身のまわり) ・丸太の直径(身のまわり) 	<p>◇「～の利用」「活用・探究」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピーで拡大するときの倍率を調べよう ・マグニチュードと地震 	<p>◇「深めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピードと停止距離の関係 ・釣瓶岳から富士山が撮影できた？ 	<p>◇「数学の広場」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記号や式を英語で読む(数学と英語) ・身のまわりで見られる曲線(数学と実社会) 	<p>◇「数学ライブラリー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディファントスの考えた解き方 ・タレスと円 ・大矩 	<p>◇「さがしてみよう」「説明してみよう」「調べよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある放物線 ・3等分する方法 	<p>◇「数学のたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記号√の起源(歴史・英語) ・放物線(生活) ・記号⊙の起源(歴史)

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> り) ・パッチワークの作品 レモンスター (身のまわり) ・畑に通路をつくろう (身のまわり) ・走行距離の速さを推測しよう (身のまわり) ・マイバックをどれくらい使ってから買い替えるとよいか (社会) ・スパゲッティーマジャーの穴の直径 (身のまわり) ・富士山の山頂はどれくらい遠くから見えるか (身のまわり) ・太陽光パネルのパネルとパネルの間の距離 (理科) ・琵琶湖のホンモロコの全体の数の推定 (社会) <ul style="list-style-type: none"> ◇「数学のまど」 ・身のまわりの放物線 <ul style="list-style-type: none"> ◇「MATH CONNECT」 ・数学×渋滞学研究者 ・数学×3D アートクリエイター <ul style="list-style-type: none"> ◇「数学の自由研究」 ・黄金比 	<ul style="list-style-type: none"> 震のエネルギー (理科・防災) ・通路の幅を決めよう ・停止距離は何 m になるだろうか (安全) ・光の進み方の性質と図形の性質を使って校舎の高さを求める (理科) ・パスタメジャーを作ろう (家庭) ・丸太から角材を切り出す方法を考えよう (技術) ・ぴったり入る撮影位置はどこ? ・富士山が見える範囲を調べよう ・折り紙のなかに数学を見つけよう (伝統文化) ・英和辞典の見出し語は全部で何語か推定しよう <ul style="list-style-type: none"> ◇「MATHFUL」 ・数のひろがり (歴史) ・数の読み方と言語 (国際) ・身近にある放物線 ・国勢調査と標本調査 (社会) ・落下運動の発見 (理科) ・リレーのバトンパス (保健体育) 	<ul style="list-style-type: none"> ・久山町研究 <ul style="list-style-type: none"> ◇「Tea Break」 ・バビロニアの粘土版 ・身近に見られる放物線 ・リレーのバトンパス ・木の高さを見積もる知恵 ・身のまわりのものの体積 <ul style="list-style-type: none"> ◇「数学へのいざない」 ・因数分解で売り上げアップ ・日本人に好まれやすい白銀比 ・三四五 ・開票率 1% で当選確実!? <ul style="list-style-type: none"> ◇「活用」 ・書籍の折り方 ・シャッタースピード ・風力発電 ・ゴールに入れやすい角度 ・レーザー光線 <ul style="list-style-type: none"> ◇「さらなる数学へ」 ・エンカル消費についてできることを考えよう ・黄金比って何? ・ドローンを使った撮影範囲は? 	<ul style="list-style-type: none"> 会) ・身のまわりで活躍する放物線 (数学と実社会) ・ガリレオ・ガリレイの実験 (数学と理科) ・身のまわりにある円の性質 (数学と実社会) ・円の中心の求め方 (数学と実社会) ・社会で活躍する三平方の定理 (数学と実社会) ・地球温暖化問題 (数学と実社会) ・黄金比 (数学と美術) <ul style="list-style-type: none"> ◇「数学しごと人」 ・都市模型制作者 	<ul style="list-style-type: none"> ・国勢調査 ・魚の数を調べるには? <ul style="list-style-type: none"> ◇「学習のとびら」「～の利用」 ・ピザをつくろう ・通路の幅を何 m にすればいいかな? ・車は急に止まれない ・校舎の高さを求めるには? ・単語帳をつくろう ・船の位置はどこ? ・ストリングアートの中のきまりをさがそう ・富士山の頂上から見たわたせる距離は? <ul style="list-style-type: none"> ◇「学びをいかそう」 ・容器をつくろう ・全身がうつる鏡 ・曲尺の秘密 ・災害から身を守ろう ・教科書ができるまで <ul style="list-style-type: none"> ◇「二次元コード」 ・通路のあるチューリップ畑をつくろう ・ボールが斜面を転がるようす ・ボールを斜めに放り投げたときのようす ・制動距離を調べよう ・ノートを三等分する 	<ul style="list-style-type: none"> ・山頂から見渡せる距離 ・古代の測量法 ・コースター作り ・コンピューターを利用した無作為抽出 <ul style="list-style-type: none"> ◇「学んだことを活用しよう」 ・A4 判から A5 判に縮小するときの倍率 ・紙パックを作る ・制動距離の差を調べる ・100 食分のカレーが作れる鍋の購入 ・花火の打ち上げ地点までの距離 <ul style="list-style-type: none"> ◇「数学旅行」 ・フラクタル日除けってどんなもの? ・マイクロの世界 ・リレーのバトンパス ・皆既日食と金環日食 ・曲尺と数学 ・選挙速報 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の標本調査での失敗 <ul style="list-style-type: none"> ◇「SDGs と数学」 ・風の力 <ul style="list-style-type: none"> ◇「数学を仕事に生かす」 ・データを分析してわかること <ul style="list-style-type: none"> ◇「数学研究室」 ・黄金比 ・和算の秘密を明かした大名

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> ・大道具「さしがね」(技術) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震に耐える能力を調べる (理科) ・偏りをさけるには ・どうやって認識しているの ・アインシュタインも驚いたお金のしくみ ・江戸時代に数学が流行 (歴史) ・日本のことばと数(国語) ・数学から見る芸術の世界 ・音楽と数学 (音楽) <p>◇「社会にリンク」「二次元コード」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙物理学研究者 ・製薬会社研究員 ・ミニチュア写真家・見立て作家 ・自然保護官(レンジャー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・震源の位置を特定できる 		<p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船の位置はどこ？ ・ピタゴラスの発見をさぐる ・社会生活基本調査 		

別表 7

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
ユニバーサルデザイン化に向けた工夫(文字の書体、大きさ、図表等の色遣い、装丁方法等)	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。 ・読みやすいUDフォントを採用している。 ・環境に優しい再生紙や化学物質を抑えた 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。 ・読みやすいUDフォントを採用している。 ・環境に配慮した紙や植物油インキを使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。 ・読みやすいUDフォントを採用している。 ・健康やアレルギーに配慮した植物油イン 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。 ・読みやすいUDフォントを採用している。 ・環境にやさしい再生紙と植物油インキを 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。 ・読みやすいUDフォントを採用している。 ・植物性インキと再生紙を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。 ・読みやすいUDフォントを採用している。 ・印刷は植物油インキを、用紙は再生紙を 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。 ・読みやすいUDフォントを採用している。 ・植物性インキと再生紙を使用している。

調査項目		発行者名						
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
		植物油インキを使用している。 ・持ち運びの際の生徒の身体的負担軽減のため、丈夫で筆記性の良い白色軽量化用紙を使用している。	している。 ・表紙は丈夫な紙を使用し、長期の使用に耐えられ、汚れにくい加工が施されている。 ・本文用紙は薄くて丈夫な紙を使用している。	クを使用している。 ・表紙は表面にコーティングを施し、汚損しにくくしている。	使用している。 ・生徒の負担軽減のため、軽量化を図り、目に優しい紙を使用している。表紙では堅牢な紙を使用し、汚れないようにコーティングをしている。	・紙面に載せるべき内容を二次元コードコンテンツで扱うことで教科書のページ数、重さを約1割削減している。 ・表紙、裏表紙には汚れにくく丈夫な加工を施している。	使用している。 ・軽くて丈夫な紙を使用している。 ・図は大きく見やすい。 ・書き込みがしやすいよう、図やグラフを紙面の外側に配置している。	・図中の線を太く、文字を大きくすることで、図を見やすくしている。 ・丈夫で書き込みがしやすく、通常よりも軽くて裏移りが少ない紙を使用している。 ・表紙は耐水性や堅牢性に優れた表面加工をしている。
教具（デジタルコンテンツの活用等）の内容	1年	○教材・教具 ・正四面体模型 ・正六面体模型 ・正八面体模型 ・正十二面体模型 ・正二十面体模型 ・角柱と角錐の体積関係補助教具 (巻末教具計4ページ) ○二次元コードコンテンツ 623箇所	○教材・教具 ・1年のまとめ ・正十二面体の模型 ・正二十面体の模型 (巻末教具6ページ) ○二次元コードコンテンツ 18箇所	○教材・教具 ・正負の加減用カード ・角柱と角錐の体積関係補助教具 (巻末教具計4ページ) ○二次元コードコンテンツ 126箇所	○教材・教具 ・正四面体模型 ・正六面体模型 ・正八面体模型 ・正十二面体模型 ・正二十面体模型 ・角柱と角錐の体積関係補助教具 ・データの整理と分析補助教具 (巻末教具計6ページ) ○二次元コードコンテンツ 117箇所	○教材・教具 ・図形の移動補助教具 ・作図補助教具 ・立体の切断補助教具 (巻末教具計1ページ) ○二次元コードコンテンツ 191箇所	○教材・教具 ・図形の移動補助教具 ・作図補助教具 ・立体の切断補助教具 (巻末教具計1ページ) ○二次元コードコンテンツ 114箇所	○教材・教具 ・いろいろな立体作成補助教具 ・正四面体模型 ・正六面体模型 ・正八面体模型 (巻末教具計2ページ) ・巻末にミシン目加工が施され「対話シート」「振り返りシート」がある ○二次元コードコンテンツ 165箇所
	2年		○教材・教具 ・2年のまとめ (巻末教具計4ページ)	○教材・教具 ・図形の性質まとめ ・図形の合同補助教具 ・平行四辺形の性質補助教具	○教材・教具 ・図形の合同補助教具 (巻末教具計1ページ)			○教材・教具 ・巻末にミシン目加工が施され「対話シート」「振り返りシート」がある

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	○二次元コードコンテンツ 503箇所	○二次元コードコンテンツ 10箇所	・確率用サイコロ (巻末教具計3ページ) ○二次元コードコンテンツ 75箇所	○二次元コードコンテンツ 71箇所	○二次元コードコンテンツ 144箇所	○二次元コードコンテンツ 94箇所	○二次元コードコンテンツ 116箇所
3年	○二次元コードコンテンツ 626箇所	○教材・教具 ・因数分解補助教具 ・三平方の定理証明補助教具 (巻末教具計1ページ) ○二次元コードコンテンツ 18箇所	○教材・教具 ・図形の性質まとめ ・震源地の特定地図 ・因数分解補助教具 ・三平方の定理証明補助教具 (巻末教具計5ページ) ○二次元コードコンテンツ 111箇所	○教材・教具 ・因数分解補助教具 ・三平方の定理証明補助教具 (巻末教具計2ページ) ○二次元コードコンテンツ 76箇所	○二次元コードコンテンツ 170箇所	○教材・教具 ・因数分解補助教具 (巻末教具計1ページ) ○二次元コードコンテンツ 105箇所	○教材・教具 ・因数分解補助教具 (巻末教具1ページ) ・巻末にミシン目加工が施され「対話シート」「振り返りシート」がある。 ○二次元コードコンテンツ 110箇所
キャラクターの内容やマークの工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーローというキャラクターを中心に、多様性に配慮した人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるように工夫している。 ・デジタルコンテンツが利用できるように「二次元コード」を示し、マークがあるページでは、問題のシミュレーションや動画の視聴、練習問題を視聴することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーとリカイというキャラクターを中心に、多様性に配慮した人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるように工夫している。 ・デジタルコンテンツが利用できるように「二次元コード」を示し、マークがあるページでは、問題のシミュレーションや動画の視聴、練習問題を視聴することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木のキャラクターを中心に、多様性に配慮した人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるように工夫している。 ・デジタルコンテンツが利用できるように「二次元コード」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トライというキャラクターを中心に、多様性に配慮した人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるよう工夫している。 ・デジタルコンテンツが利用できるように「二次元コード」を示し、マークがあるページでは、問題のシミュレーションや動画の視聴、練習問題を視聴することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふわりんというキャラクターを中心に、多様性に配慮した人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるよう工夫している。 ・デジタルコンテンツが利用できるように「二次元コード」を示し、マークとタイトルがついていて、問題のシミュレーションや動画、統計データ、練習問題を視聴することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カンガルーのキャラクターを中心に、多様性に配慮した人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるよう工夫している。 ・デジタルコンテンツが利用できるように「Linkマーク」を示し、マークがついているページの下には、二次元コードコンテンツがあり、問題の説明や動画、資料、シミュレーション、問題を視聴することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピタゴラというキャラクターを中心に、多様性に配慮した人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるよう工夫している。 ・デジタルコンテンツが利用できるように「二次元コード」を示し、学習内容のすぐそばに掲載している。 ・問題の説明や動画、シミュレーション、練習問題を視聴することができる。

調査項目	発行者名						
	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> 索引欄に言葉だけでなく、言葉に関連する図も記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 索引欄に重要事項をまとめて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 索引欄に使用する記号も記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 索引欄に同じ意味をもつ英語表記や、使用する記号をまとめて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 索引欄に使用する記号をまとめて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> マークは大きめで情報を見落としにくくなっている。 索引欄に使用する記号をまとめて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 索引欄にふりがなを付け、同じ意味をもつ英語表記や、使用する記号をまとめて記載している。